

カメラニュース

わがまち子ども探検隊

「こども110番を探そう！」

危険を感じたときに、どのようにしたらいいか。子どもたちを不審者や犯罪から守るため、竹原第1地区協働のまちづくりネットワークでは、子どもたちと一緒に地域を回りながら、助けを求めることの大切さを伝えました。



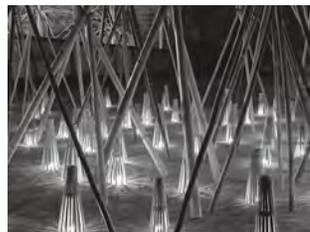
「こんにちは。こちらがお世話になっている松本さんです。よろしくお願ひします。」
 11月7日、竹原第一地区協働のまちづくりネットワーク防犯部会が、「こども110番の旗」の協力家庭、協力店を子どもたちと一緒に訪問して回る「わがまち子ども探検隊」事業を実施しました。
 こども110番の旗は、小学校の通学路などで、常時だれかがいて、子どもの見守りに協力することのできる家庭やお店に掲げられているものです。子どもたちがいざというときに駆け込むことのできる、安心安全の目印です。
 昨年度、防犯部会では、地域内のすべての旗を確認して回りました。古くなった旗を取り換え、旗の少ない地区や留守の多い既設者を確認し、今年度から新たに協力者を10か所増やしました。
 「ただ、110番の旗を掲げているだけではだめですね。いざというときに、子どもたちが実際に駆け込めるようにするには。」と、防犯部会長の山内攻さん。



そのためには、日ごろから「こども110番の旗」の意味や設置している場所、地域の人の顔を知ることや、あいさつをかけあえる関係を築くことが大切だと、部会で話し合われ、「わがまち子ども探検隊」の企画が生まれました。
 防犯部会員で、子ども会副分団長でもある田上博美さんは、「今回、こども110番の協力家庭の方々に会い、子どもたちの顔を知ってもらい、普段から声掛けや、注意をしてもらえるとうれしいですね。保護者だけで子どもたちを見守ることはできませんから。」
 誰かが見ていてくれる、守られている、そんな安心感が地域に広がるのが期待されます。
 地域の課題に世代を超えて取り組むことで、地域に昔ながらのつながりが少しずつ芽生え始めています。

地域^{とも}の力で灯す 幻想的な光

～町並み竹灯り たけはら憧憬の路～



10月30日と31日、たけはら憧憬の路が開催されました。憧憬の路では、毎年、地域の様々な団体が汗を流して準備し、竹灯りによる幻想的な美しい空間を作り上げています。
 今年度は、竹原第3地区協働のまちづくりネットワークの交流部会が、地元祭りを盛り上げようと、これまで竹灯りが少なかった照蓮寺へと続く通りに注目し、多くの竹筒で飾りつけました。
 「地元の祭りを盛り上げるために、みんなです

ごいのやつちやろうや！」という思いで、3日かけて、制作したそうです。
 こうした地域の人たちの協力もあり、今年の町並み保存地区は、これまで以上に美しく幻想的な灯りに包まれ、来場者からは「きれいいじゃねー。」という声が多いねえ。という声が多数聞かれました。
 そして、竹灯りは、来場者を楽しませるとともに、地域の絆を強めるきっかけにもなっているようです。
 来年の憧憬の路も楽しみですね。

みんなで楽しむ 文化の秋

10月23日～11月7日、竹原市総合文化祭が開催されました。市民館のステージでは、コーラスや民謡、舞踏など文化の秋にふさわしい催しが行われました。日頃の練習の成果を発揮した出演者に、観客からは大きな拍手が送られました。



元気な歌声 響く演奏

11月6日、市民館で子ども文化祭が開催され、市内5校の小学校が楽器演奏や合唱を発表しました。忠海東小学校は、子ども太鼓を披露し、元気のよい太鼓の音が会場に響きわたりました。また、鑑賞した児童による合唱も行われました。



うさぎも応援？ ラビットクロカン

11月7日、休暇村大久野島でラビットクロカンが開催され、368人が参加しました。自然豊かな大久野島で走る参加者の表情は、とても清々しく、元気よく声援に応える姿も。年々、ウォーキングに参加する人が増えているそうです。



戒まつり 「たまゆら」とコラボ！

11月21日、竹原駅前商店街でたけはら戒まつりが開催され、露天市やステージイベントなどが行われました。今回の目玉はアニメ「たまゆら」の声優によるトークイベント。多くの若者が来場し、イベントを楽しんでいました。



是政 博敏さん



花岡 一己さん

秋の叙勲 受章者決まる

10月9日と11月3日、秋の叙勲の受章者が発表されました。

東野町に住む元竹原広域行政組合消防監の是政博敏さんは、危険を伴う業務に従事した人の功績をたたえる「危険業務従事者叙勲」の瑞宝単光章を受章されました。長年、消防活動を通して人々の安全を守り、人命救助に貢献してこられました。

吉名町に住む元竹原市消防団分団長の花岡一己さんは、瑞宝単光章を受章されました。36年もの間、災害に率先して出動し、被害の軽減のために献身的な活動をしてこられました。また、分団長として、消防団の育成にも貢献されました。



美しい調べに包まれて

11月23日、市民館で東京竹原会創立20周年記念「マンドリン演奏と落語の夕べ」が開催されました。

東京竹原会は、平成4年から竹原ゆかりの在京者と竹原の有志により、関係者の情報交換及び懇親の場として、東京都内で開催している会です。

20周年を記念した今回のイベントでは、竹原出身の6代目柳亭左楽師匠による落語と、創部100周年を迎えた慶応義塾マンドリンクラブによる演奏が行われました。ユーモアあふれる落語と若さあふれる素晴らしい演奏で、会場は笑いと感動的な音に包まれました。